

# POWER!

2023年  
5月  
vol. **85**

令和5年(2023年)  
5月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 5月、7月、10月、1月

<http://www.yakuren.jp>

## 令和4年度 定時評議員会開催される!!

令和5年3月29日(水)午後1時よりA.P日本橋において令和4年度定時評議員会が開催された。今回も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面表決も可として開催され、会場への参加者は62名、書面表決者は27名であった。

### 開会及び来賓挨拶

小山常任総務の司会で開会となり、山本会長から「神谷選挙の総括をしっかりと行い、二人体制を堅持するためにも次の本田選挙に向けて協力をお願いしたい」との挨拶がなされた。

次に薬剤師国会議員の逢坂誠二衆議院議員、神谷政幸参議院議員よりお祝いの挨拶をいただいた。本田顕子参議院議員は公務のため関野秘書よりメッセージが



開会及び来賓挨拶

代読された。

### 副議長の選出

次に、明石議長が登壇し、会議の成立の宣言と議事録署名人の指名を行った。続いて、昨年の臨時評議員会で候補者がいなかった副議長の選出が行われ、挙手多数により岩手県の畑澤博巳評議員が副議長に選出された。

### 重要事項の報告及び議案の説明

次に、重要事項の経過報告が担当役員からなされた後、報告第1号 令和4年度会務並びに事業中間報告、報告第2号 第26回参議院議員通常選挙結果総括報告が説明され、続いて議案第1号 令和



副議長の選出

5年度事業計画、議案第2号 令和5年度責任負担金賦課額、議案第3号 令和5年度責任負担金単価、議案第4号 令和5年度収入支出予算、議案第5号 令和5年度借入金最高限度額の件について担当役員から説明がなされた。

### 採決

休憩をはさみ、質疑応答の後、採決が行われた。報告2件及び議案5件すべてが書面表決を含め挙手多数で議決された。

### 協議

次に、畑澤副議長が議長となり、本田あきこ中央後援会の活動について協議が



重要事項の報告及び議案の説明

行われた。

中央後援会役員の会務分掌、今後の活動スケジュール、支援組織体制、広報活動(多刺刑資料、室内ポスター、名刺裏用紙等)について担当役員から説明された。

その他として、過去5回の選挙において各都道府県が最も多くの得票数を獲得した資料が配布され、川田幹事長から「得票最大値の合計が約18万8千であることから、次の得票目標を20万票とする方向で検討している。配布資料を参考にしていたら各都道府県における得票目標数を5月の連休明けまでに提出していただいた上で、中央後援会として検討し、改めて6月29日の会長会において各都道府県における得票目標数を提示したい。」と説明された。

### 閉会

協議終了後、大澤副会長の閉会挨拶で定時評議員会の幕を閉じた。



採決(質疑応答)

## 風力計



日本薬剤師連盟 副会長 大澤 泰輔

「能ある鷹は…」

薬剤師の職能は様々な法律や規則で薬剤師としてできること、やらなければならないことが定められている。そして、その法律や規則を時代の流れによって新たに制定したり、改正したりするのは政治の場である国会で国会議員が決めている。であるならば、国会のその場に薬剤師資格を持った国会議員がいるべきで、それが本田あきこ先生と神谷まさゆき先生である。

この2人は参議院選挙の全国比例区で全国の薬剤師の皆さんが応援して当選した議員で、正に我々の組織代表議員である。3年毎の選挙で交互に当選させ続けることは、我々の代弁者として必要不可欠であると共に、同時にもう一つの重要な意味がある。それは常に2人の組織代表議員を持ち続ける組織力を示し続けることだ。

組織代表議員を持ち続けている団体の力は、そのまま発信力となる。立法や行政における意思決定についても同様で、「薬剤師からの意見に耳を傾けることが重要だ。」と思ってもらうことが可能となる。「薬剤師1人体制から2人体制になってから、薬剤師による政治活動に対する対応が変わった。」とも言われていることから、国民や政治に携わる方々の薬剤師に対する期待が伺える。この全国比例区で組織代表議員2人を持ち続けることが「明日の薬剤師の職能と生活を守る」ための重要な方策であると言える。

# 物語

## て

## 第二章

### もっと 薬剤師の声を国政に

国家のため 2022年3月15日

社会の形成等に関する特別委員会  
感染症対策

委員会 2022年3月3日 予算委員会



茂之大臣(ともに当時)と質疑



(注)野田大臣は内閣府特命担当大臣(地方創生)、牧島大臣はデジタル大臣



20年7月の熊本豪雨で現地と党本部を奔走

### 大臣政務官として



支援、を担当



総理公邸にて



国際女性会議



15号被災地視察



大臣政務官として 答弁



はたちの 献血キャンペーン



# 本田あきこ物

## 国会議員として歩みはじめ

### 初登院

2019年8月1日 木曜日 晴れ



初登院の時だけ通れる正門から



登院盤ボタンを初めて押す瞬間



たくさんの報道陣の前で



本会議場で神妙な面持ち



リラックス!!

### 国会質問デビュー

2019年11月21日

#### ●厚生労働委員会

〈冒頭発言〉 自由民主党の本田あきこでございます。初めての質問でございます。委員長、発言の機会をいただき、ありがとうございます。**現場の声を届ける気持ちで発言させていただきます。**不慣れな点もあるかと存じますが、皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



挙手して、(委員長「本田あきこ君」)そして質問  
当日は薬機法の一部改正法案の質疑。薬局認定制度の創設にあたり、政府に対して、現場の意見を踏まえた認定要件の設定、財政面での支援を要請。また、服薬指導の対面原則などを要求。



加藤勝信大臣(背中)との質疑

### 生活者のため、国

#### ●地方創生及びデジタル

- ▶新型コロナウイルス感染症
- ▶女性活躍
- ▶災害復興支援 など

2021年3月18日 議院運営委



菅義偉総理、後藤



〈女性デジタル人材の育成〉野田聖子大臣、牧島かれん大臣(ともに当時)と質疑



自民党のコロナ対策本部にて

## 人生100年時代を見据え、いのちと暮らしを守る。



ふるさとの声、薬剤師の声を国政に届ける



## 薬剤師から政策提言!

2022年9月28日  
日本薬剤師連盟 臨時評議員会にて、組織内統一候補に決定



#### ●公式ホームページ

本田あきこ

検索



### 厚生労働

2022年8月12日 拜命



医療、子育て支ワクチン接種推進



台風



食品衛生功労者表彰式

# 2023(第20回)統一地方選挙 薬剤師候補者当落結果

## ●4月9日投開票分

当落	当選回数	都道府県	区分	届出氏名	
当	5期	栃木	栃木県議	山口 恒夫	現
当	2期	千葉	千葉県議	市原 淳	現
当	6期	岐阜	岐阜県議	川上 哲也	現
落	—	静岡	浜松市議	杉山 裕司	新
当	4期	愛知	愛知県議	稲本 和仁	現
無投票当選	1期	三重	三重県議	松浦 慶子	新
当	6期	大阪	大阪市議	辻 淳子	現
当	1期		大阪市議	鈴木 理恵	新
落	—	福岡	福岡県議	畑中 茂広	現
無投票当選	3期		福岡県議	江頭 祥一	現
当	3期	長崎	長崎県議	宮本 法広	現
当	3期	鹿児島	鹿児島県議	寶來 良治	現
当	2期		鹿児島県議	池畑 知行	現

## ●4月23日投開票分

当落	当選回数	都道府県	区分	届出氏名	
当	6期	北海道	赤平市議	北市 勲	現
当	3期		網走市議	永本 浩子	現
当	4期		滝川市議	荒木 文一	現
当	6期	山形	山形市議	斉藤 栄治	現
当	4期	茨城	常総市議	遠藤 章江	現
当	1期	群馬	桐生市議	小島 強	新
当	2期	千葉	成田市議	葛生 孝浩	現
落	—	東京	青梅市議	山本 佳昭	元
当	1期	石川	金沢市議	宇野 裕基	新
当	6期	愛知	高浜市議	北川 広人	現
当	3期		一宮市議	中村 一仁	現
当	1期		みよし市議	寺本ひろこ	新
当	1期	大阪	半田市議	榊原みずき	新
落	—		吹田市議	池淵佐知子	現
落	—	兵庫	西宮市議	植田 篤治	現
当	5期		太子町議	北川 嘉明	元
当	1期	長崎	長崎市議	澤勢 瑞城	新
当	2期	熊本	荒尾市議	多田隈 穰	元

## オレンジ日記

参議院議員・薬剤師 本田顕子



### 法案成立を通して感じること

令和5年4月21日、参議院本会議にて、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部を改正する法律案が可決、成立しました。

この法律によって、国民生活や国民経済に甚大な影響を与えるおそれのある感染症が発生した場合に迅速な指示や要請を可能にする権限が明確になりました。加えて、内閣感染症危機管理統括庁という新しい組織が司令塔として、関係府省による施策に関する総合調整機能を担います。

今回の法案成立に至るまでに、衆参両院の内閣委員会での審議や、内閣委と厚生労働委員会との連合審査に関わらせていただきました。法律が目指す趣旨を損なわないよう、緊張感を持って施行準備をしていく示唆に富む審議の数々でした。

今国会では、厚生労働省が所管する水道行政と食品衛生行政を他府省へ移管することを趣旨とする法律案の審議も行われています。委員会質疑を通じて、人の健康を守る観点で取り組むことの大切さ、すなわち保健衛生の重要性について国民的視点から再認識しております。

組織再編などの効果を実感できるようにするには、これらに関わる方々が自らの価値を最大限に生かすことが何よりも大切と私は捉えています。

水質も食品も、そして感染症も薬学教育の範疇であり、国民生活に直結する課題の多くが薬学的知見を必要としていると考えます。

薬剤師として国民の皆様の命と暮らしを守るために持てる力を最大限に生かしてまいりましょう！

もちろん私自身も尽力してまいります！！



## 政幸だより

参議院議員・薬剤師 神谷政幸



### 内閣委員会で創薬ベンチャーについて質問しました

今国会で「新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部を改正する法律」が審議され、令和5年4月13日(木)の参議院内閣委員会で質問に立ちました。法改正のポイントは大きく2つです。現在、まん延防止等重点措置時及び緊急事態宣言時に限られている総理大臣による都道府県知事などへの指示権を初期段階から対応するため、政府対策本部を設置した段階で発動できるよう前倒しすることと、内閣官房に「内閣感染症危機管理統括庁」を設置することです。

未知の感染症の国民生活への影響、ワクチン接種の効果と今後のワクチン接種、治療薬の効果、新たな感染症に対応するワクチンや医薬品の国内開発に必要な創薬ベンチャーの育成、検査キットの確保や流通等について質問を行いました。

特に創薬ベンチャーの育成については政府参考人から、新薬創出の鍵を握る創薬ベンチャー育成のため、経済産業省では国が認定したベンチャーキャピタルが出資する創薬ベンチャーを対象とした実用化開発に対し、合計3500億円規模で支援を行っており、厚生労働省ではベンチャー企業を対象とした相談窓口を設置し、研究開発から実用化に至るまで、法規制対応やマーケティングに関する相談などの支援を行うなど、創薬ベンチャーの成長を強力に後押ししていくとの回答を得ました。この回答に対して、今後も一貫性を持った投資を継続していくことが必要と訴えました。創薬イノベーション・エコシステムの構築に向けて頑張っております。

## 編集後記

### オレンジ活動

5月8日より、新型コロナウイルスは5類感染症に移行しました。今年のゴールデンウィークは海外へ行かれた方もおられることと思います。

コロナ禍では外出の機会が少なかったのを服を買うこともほとんどありませんでしたが、先日、久しぶりにショッピングに出かけました。春らしいパステル調の服も気になりつつ、つい目が止まるのは、昨年から流行っている緑色の服です。そう、サムシンググリーンがまだ抜けていないようです。ファッション業界の流行というものは誰が作るのか、多くの店がグリーン推しということもあり、あちこちから緑色が目に飛び込んできます。いやいや、今私に必要なのはオレンジ色で、新たに緑色の服を買うのはやめておこう、と自分に言い聞かせて結局何も買わずに帰りました。

昨年、神谷政幸総決起大会で名古屋を訪れた際、街行く多くの人が緑色のファッションに身を包んでいて、この人たちはみんな総決起大会に参加する人なのか?と思つたことを懐かしく思い出します。

ファッション業界リーダーの方にお願いです。次はオレンジ色ブームを起こしてください。そして世界中をオレンジ色に染めてください。少なくとも薬業界の皆さんが買い占めるはずですよーよろしく願います。

それまではゴールデンウィークに衣替えで3年ぶりに出した手持ちの服でオレンジ活動に動きます。(ひよっこ)

### 広報委員

- 原口 亨、石井 甲一
- 浜田 嘉則、橋本 昌子
- 和泉啓司郎、小屋敷淳子
- 堀越 博一、渡邊美知子